

おひざにだっこでおはなししましょう ~読み聞かせ、どうしてる?~

【場面設定】対象者：2歳児の保護者，場所：〇〇保育所，時間：60分，

※図書館司書又は読書ボランティアの方と一緒に進める。

作成班 B

【ねらい】読み聞かせの悩みや工夫などの交流を通して、自分の読み聞かせを振り返るとともに、それぞれの実情に応じてこれからの読み聞かせに活かそうとする。

【準備物】主催者：名札，ワークシート，アンケート用紙，筆記用具，絵本

20名

時間	アクティビティの展開例	留意点	備考
(分)	〇名札付け(来順に)	〇全員が名札をつける。(呼ぶほい名まえ)	
(5分)	〇ファシリテーター(学習支援者)自己紹介、主旨・ルールなど説明	〇写真と絵本を見せ、事前了解を取る。(有休等) 〇地域の読み聞かせボランティア(1名)と協働する 〇おすずめ絵本を展示し、親子が自由に絵本に触れられるようにしておく	
(10分)	アイスブレイク(雰囲気づくり) 「あと出しジャンケン」 ①リーダーは「私に勝ってください」と言ってからジャンケンポンを出す ②同様に「私に負けてください」と言いながら繰り返す。 「ジャンケン列車」 ・2人でジャンケンをし負けた人が後ろに7ク。→次々ジャンケンをする。 ・1列になった所を番号「1〜4」を言う 〇グループ内で自己紹介(思いついたら)「思いついた絵本(絵本)と絵本を混ぜる」	〇初体験の人同士の場合、自由に意見を交わすためのワーキングアップとする。 〇男女に分ける 〇サブファシリテーターが思い出しやあいように話をある(困っている人がいたら)	
(3分)	〇タイトル「ねらい」を読む。 <エピソードを読みあそぶ> 〇エピソードを読む。(黙読)	〇ボランティアの人と読んでもらう 〇三つの約束(発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守)を話し合った後に話しあっても良い。(パス有り)	
(30分)	<考えましょう> 〇絵本の読みかきかきで「困っていること」や「聞いてみたいこと」を考え、話し合う。 <考えましょう、お話ししましょう> (7分) 〇絵本の読みかきかきについて、グループごとに自由にテーマを求めて話し合う。(15分) 〇話し合ったことを紹介する (5分)	〇話し合いのから記入してよい。 〇グループで自由に話し合えば、テーマを決める。 〇テーマが思い浮かばない場合は、サブファシリテーターが支援する(ヒント) 〇発表の中で質問があればボランティアの人に答えもらう	
(7分)	<学習を振り返りましょう> 〇ワークシートに1行でもお話しあっていること 〇ファシリテーターの話し 「絵本」	〇意見の声は時間によって家で読むように伝える。 〇ボランティアの人に絵本を読んでもらう (おすずめの本もしくは、大人対象の本を選んで読む)	
(5分)	〇終了カード付け 〇アンケート記入	参加者全員で行う アンケート記入後解散	

<メモ>